



むぎのほ



かいかんだより

2022年 3月 第263号



子ども家庭支援センター 麦の穂
中津川市千旦林 1468-7 地域交流ホーム 麦の穂会館内
TEL 0573 (68) 6858 FAX 0573 (64) 8139

今シーズンの冬は雪がとても多く、氷点下に冷え込む日が続きました。車の運転心配だな、また雪かきか…なんて雪に良いイメージが持たなくなっていました。子どもたちが寒さに負けず、雪遊びを思い切り楽しむ姿を見て、子どもの頃のワクワク感を思い出しました。そんな長く感じた冬も終わりに近づき、日差しに暖かさを感じるようになりました。待ち遠しかった春がすぐそこまで来ていますね♪

今年度もコロナの感染状況に配慮しながらの1年でした。感染防止に努めつつも、出来る方法を探りながら、リモートをフル活用しながら事業を進めてきました。

相談事業

麦の穂会館の環境とオンラインも活用しながら地域の子育て家庭を支える取り組みを続けてきました市の相談窓口との連携もより深まった1年でした。

フォスタリング事業

事業が始まり2年目が終わろうとしています。まだまだ模索中ですが、一つずつ整理しながら進んでいます。個々の里親さんのニーズに寄添った取り組みを今後も深めていきます。

地域の子育て家庭を

応援します▶



地域支援

「麦の穂子育てサロン」をほぼ中止することなく開催。身長、体重計測、親子遊びを通し、お子さんの成長を一緒に見守ることができました。

法人内連携

法人各施設と一緒に子どもの家庭支援について考えたり、多機能化に向け研修の企画実施に取り組みました。

10年・20年先の生き方に結び付くのが褒められたこと・叱られたことが影響します。褒められたことが自信、叱られたことが劣等感に結び付くこともあります。

今まで褒められたことを思い出すと自信に結び付くことが多くあるはずです。お母さんから丁寧に片づけができるようになったね、友達と取り合いが少なくなり仲良く遊べるようになってうれしい、本読みを長く読めて本好きになったね。友達におもちゃ貸してあげて一緒に遊べてよかった。学校の先生に字がきれいだねと褒められた。園の先生に足が速くてリレーで追い越したのがかっこよかった。絵を描くとき形と色がきれいになったね。縄跳びががんばっていたね。

このように褒められたことが人生ではたくさんあります。するとこの褒められたことが自信になって絵を描くことが意欲になります。足が速いと褒められたことでスポーツや健康に興味をもって仕事に就くこともあります。本を読んでいた時に本好きだねと褒められて勉強が大好きになった場合もあります。

しかし、この逆な場合として、お母さんやお父さん、先生、友達から〇〇違うでしょう、××しなければ遅いでしょう、もっと早く〇〇しなければ遅れるでしょうと文句や注意を受けすぎてしまったら「自分はできない・やれなくても仕方ない」といった劣等感を持つ場合があるので注意したいものです。

小さいときに好きなことを見つけてくれるお母さん居たら幸せ、たくさん褒めてくれるお父さんいたらうれしい、自分の好きなことを言ってくれる友達いたら幸せです。好きなことをじっくり見て受け入れてくれる先生がいたら最高に楽しい園生活に結び付きます。幼児期に好きなことを認められて、意欲を持ち、長く続けることで〇〇賞をもらう場合も出てくると思います。

幼稚園やこども園、保育園は小学校の教育と違って発達の方向性として楽しむばい、味わうだけでいい、広めるだけ、やろうという意欲を持つだけでいいという教育です。しかし、小学校は〇〇までできる教育として到達目標を掲げて頑張る教育を実践しています。幼稚園・こども園・保育園の時には上手にできるのでなくやれてよかったという心情、もっとやりたいという意欲、我慢して最後までやり遂げる、挑戦する心を持たせることです。10年20年先の生き方に結び付くには劣等感を与えない家庭と園の生活です。親も先生も、友達も好きなことを見つけて触れ合うことが大切です。好きなことを指摘され、褒められる体験が自信となり学校を卒業して社会に出てから最後まで頑張る力、自分から挑戦する力、自分に資質と能力があるという自信を持つ生き方に結び付くように具体的に褒められるかわりが求められます。